

# ハンディGPSのGPXファイルからQGISで図面化するスクリプト

GPXファイルのポイントデータから、QGISで①座標値をポイントに付与、②区画を作成し面積計算、までの一連の処理を自動化するスクリプトを作ったので公開します。

Ver3.16以上で動作確認済み、3.16はポイントの自然な並べ替えができないので注意

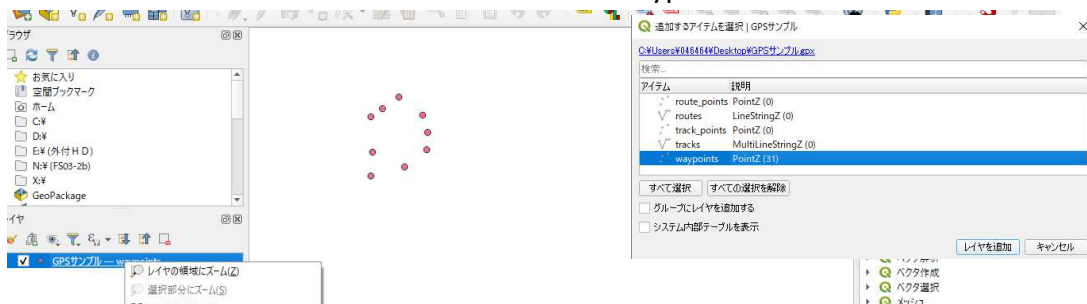
## <まずは準備>

プロセッシングツールボックスからモデル「ハンディGPS測量用.model3」を選択して追加。モデルに「ハンディGPS測量用」が追加される。



## <使い方>

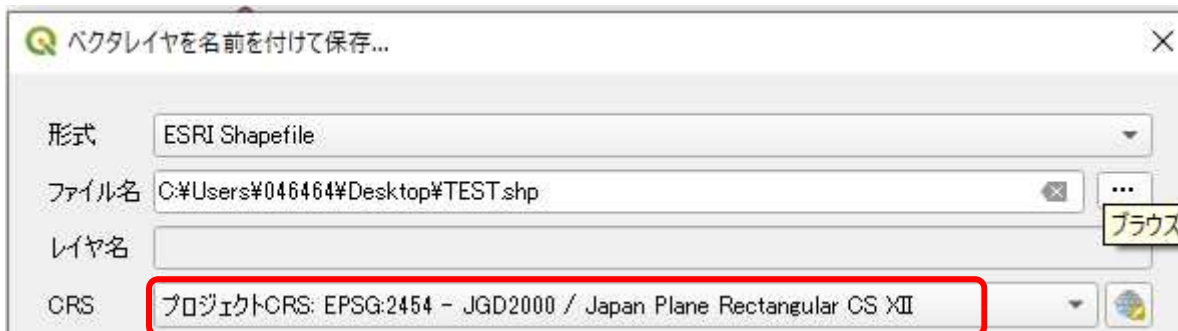
①GPXファイルをQGISにドラック&ドロップし、Waypointsを指定してレイヤを追加



面積計算の際に、プロジェクトのCSRを使用するため、必ず平面直角座標系のCSRを選択してください。



②GPXファイルのままだと、内容を変更できないので、追加したレイヤを右クリックし、新規ファイルとして保存

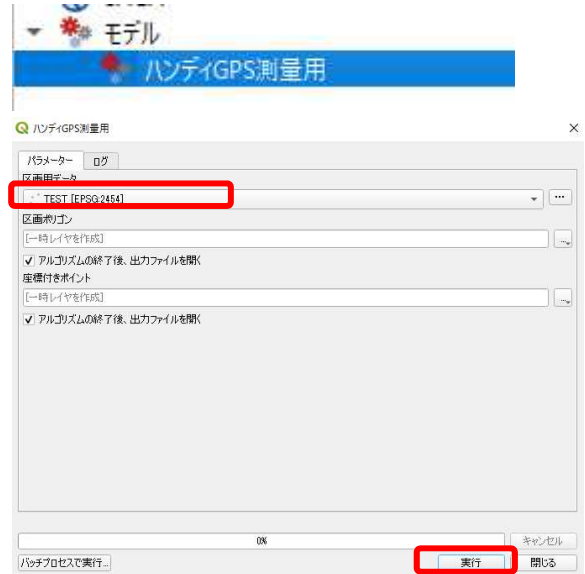


レイヤのCSRはWGS84又は平面直角座標系のどちらでも良いが、後の座標付きポイントの内容が変化しますので注意

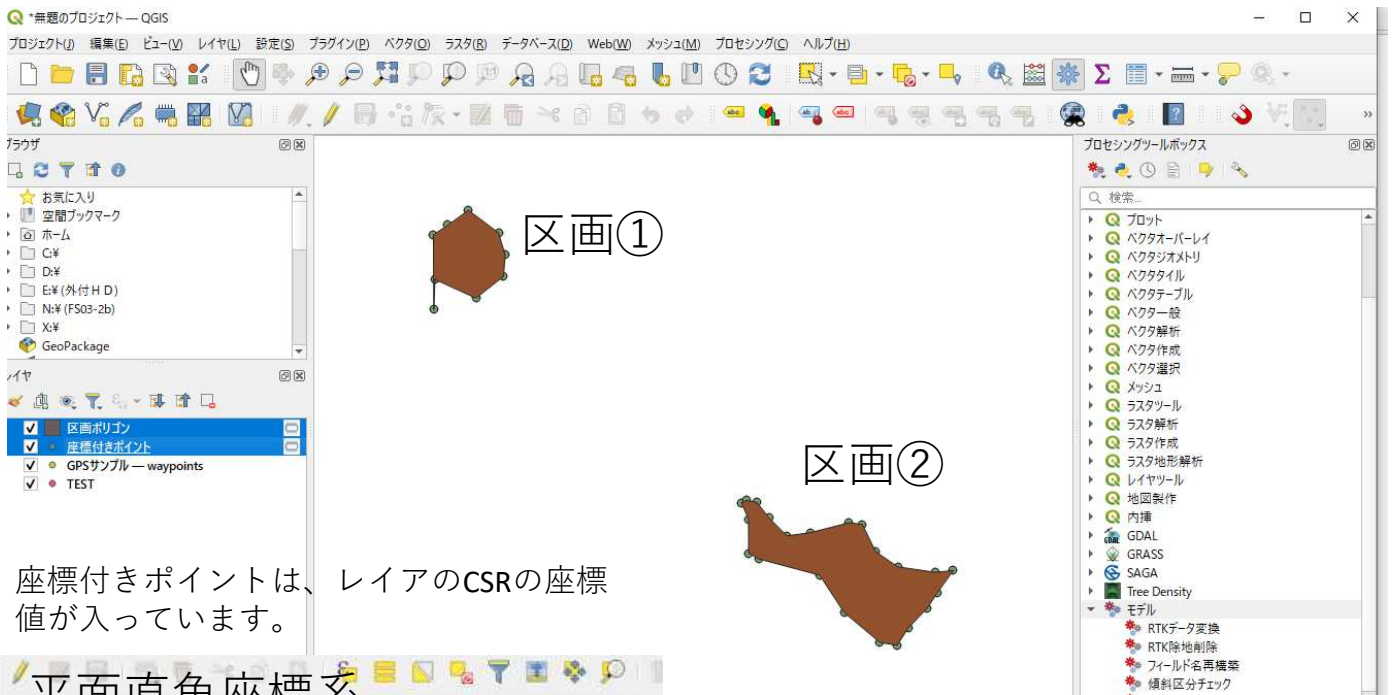
③保存したレイアの属性テーブルを開き、「desc」にそれぞれの区画番号を入力して保存

	geoidhigh	name	cmt	desc
8	NULL	907	NULL	1
9	NULL	906	NULL	1
10	NULL	884	NULL	2
11	NULL	905	NULL	2
12	NULL	885	NULL	2

④「ハンディGPS測量用」を選択し、区画用データに保存したレイアを選択して実行



⑤区画ポリゴンと座標付きポイントが作成される。



座標付きポイントは、レイアのCSRの座標値が入っています。

### 平面直角座標系

	name	x	y	z
1	884	30462.13453560...	-35322.0188465...	410.065826
2	885	30435.05529057...	-35360.0263078...	423.577606
3	886	30418.23991438...	-35385.6551836...	433.026672

### 10進緯経度

	name	x	y	z
1	884	142.62782	43.68144	410.065826
2	885	142.627482	43.681099	423.577606
3	886	142.627272	43.680869	433.026672

区画ポリゴンは面積のみ入っているもので、必要に応じて林小班など入力してください。

	desc	林班	小班	区画	面積(ha)
1	2	NULL	NULL	NULL	3.29
2	1	NULL	NULL	NULL	1.29

面積は小数点第3位を四捨五入